

2024年9月

9月16日（火）、臨床研修医向け総合講座として、内科の小田部長による「NST（栄養サポートチーム）」に関する講義が行われました。

NSTの目的は、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士・作業療法士など、職種や診療科の垣根を越えて連携し、患者中心の医療を提供することにあります。患者のQOL（生活の質）向上を目指し、各専門職がそれぞれの知識やスキルを持ち寄る「ポットラックパーティー形式」のチーム医療の考え方が紹介されました。

小田部長が入職された当時は、医師の指示が絶対というピラミッド型の体制で、他職種が意見を述べるににくい雰囲気があったとのこと。しかし、医師の判断が誤った場合に全体が崩れるリスクがあることから、現在では多職種が積極的に意見交換を行い、より質の高い医療を提供する体制へと変化しています。

講義では、栄養管理計画書の意義や、病院外の施設にもNSTチームが存在するのかといった研修医からの質問にも丁寧に回答いただきました。多職種連携の重要性を改めて認識するとともに、栄養管理が患者の回復に直結することを実感できる、非常に有意義な講義でした。

